

合は、市でルールに基づいて支援をしていきたいと思っています。

公共施設を恵み野に

問 恵み野に公共施設が必要と思うがどうか。

市長 どのような公共施設が必要か、恵み野地域内に必要な面積が得られるか、コストがどうか一つ一つあらためて検討はさせますが、相当至難だと思えます。



恵み野とその西側の集団移転候補地

被災者の住宅再建



大友 克寿

問 現在予定している集団

移転候補地（恵み野地区の西側）以外に移転できる場所は準備するのか。

市長 被災した（六つの集落のうち）4集落については集団移転の方向性が固まり、移転候補地を決めました。また、集団移転については意見が分かれており、どこに移転されるのか十分詰めていかなければなりません。その上では、今回の候補地と別になる可能性もあります。

集団移転以外の補助

問 集団移転地以外に住宅を購入した被災者に対する補助について考えを伺う。

市長 現在の段階では「防災集団移転促進事業」に係る補助制度以外はありませんが、国の制度として適用されるものがあれば、市として対応しなければならぬと思います。

問 災害公営住宅を市営林住宅の土地に建設する予定はあるか。

市長 災害公営住宅として対応したいので、市営林住宅の現在地ではなく、集団移転先に建設することになるのかと思います。

放射能対策



酒井 信幸

問 保育所や小中学校の授業で、落ち葉を使った作品づくりを行っているのか。

健康福祉部長 保育所（園）では、散歩に出かけた時、落ち葉を1、2枚程度拾い、遊びに使用しています。

教育長 小学校1年生の生活科の学習で行っています。中学校では行っていません。

問 危険であろうと思われるものに対し、教員、教諭が注意すべきと思うが、今後どのように対処するのか。

健康福祉部長 落ち葉や手をしっかりと洗い、保護者の不安に配慮しています。

教育長 落ち葉を洗って教材とし、拾った後は手洗い、うがいの励行をしっかりとしていきます。

測定場所増やしては

問 白石市では、市民の不安を払拭するために放射線量検査器や食品検査器を使

い、市民の健康管理を行っている。岩沼市でも不安を払拭するために、まず市民ボランティアを募集し、測定場所を増やしてはどうか。

市長 状況に変化があれば、しっかりと対応しなければなりません。現在把握している中では、これ以上必要ないと思います。食品検査器については、購入するよう手配しています。

その他の一般質問

森 繁男

▼親族に身を寄せる被災高齢者支援

▼市民バス、スクールバス運行

渡辺 真多

▼農地の回復と農業の再生

▼ハザードマップの見直し

▼子育て支援

▼市役所障がい者等駐車場

▼東日本大震災による宅地被害対策

▼被災者の住宅対策

▼仮設住宅の防火対策

▼須藤 功

▼殉職者への対応

▼集団移転先へ市民農園を

▼佐藤 一郎

▼倒壊家屋の支援策

▼大友 克寿

▼今後の東部地区のまちづくり

1月臨時会

1月25日

農業委員

- ◆第1選挙区（東部）
 - 菊地 幸子 氏
- ◆第2選挙区（中央・西部）
 - 武田 篤子 氏
 - 大村 敏明 氏

岩沼市議会の臨時会（平成24年第2回議会）が1月25日に開かれ、財産の取得（消防救急無線の復旧、デジタル化整備に係る高機能指令装置等の取得）を議決したほか、任期満了に伴う議会推選の農業委員を決定しました。